

# アクションZERO～長崎ゼロ災運動～第12弾

## 労働局長メッセージ

究極の目標「労働災害ゼロ」を目指して！

長崎労働局では、平成27年度から企業の自主的な災害防止活動の普及定着を目指して、事業場参加型の無災害運動「アクションZERO～長崎ゼロ災運動～」を展開しております。

しかし、令和7年の労働災害（コロナ関連の災害を除く）は1,690件の発生と令和6年より27件増加し、死亡災害については13件と、前年と比較して7件増加しており、非常に憂慮すべき状況にあります。

労働災害防止には、事業者と労働者が協力し、一体となった無災害運動を継続して実施していくことはもちろん、個々の労働者がより高い安全意識を持つことが大切であり、そのための職場風土の醸成には日々の積み重ねが必要不可欠です。

長崎労働局では、昨年度参加いただいた860事業場を超える事業場にご参加いただくことを目指して、全国安全週間の本週間である7月から労働災害が多発する12月までの6か月間を運動期間として「アクションZERO～長崎ゼロ災運動～」の第12弾を実施します。

つきましては、県内の事業主の皆様方には、本運動を通じて安全衛生の意識やその大切さを再認識され、労使が一体となって自主的な安全衛生活動を更に充実させるためにも、本運動への積極的な参加をお願いいたします。

令和8年4月 長崎労働局長 高西 盛登